

BMSAM-20
巾着付きハンドバッグ

単位: 指定以外cm

出来上がりサイズ: ヨコ約 30×タテ約24×マチ約12cm
※ハンドルを含まず

【材料】

表布: 約ヨコ85×タテ65
裏布: 約ヨコ85×タテ90
(接着芯: 約ヨコ85×タテ55)
ハンドル: ペっこう調ハンドル・丸型S / 13cm 1組
BM06-09
ベルポーレン: 1.5mm厚 約35×15
ひも: 細(約4mm) 66cm 2本

【必要な道具】

はさみorカッター、しるしつけ、ミシン、ミシン糸、
ソーイングクリップ、まち針、目打ち、両面テープ など

※縫い始めと縫い終わりは必ず返し縫いをする。



BAG MEISTER



※表布が薄い場合は
表本体・表底に接着芯を貼ってください

◆製図◆

※別紙、ご参照ください。

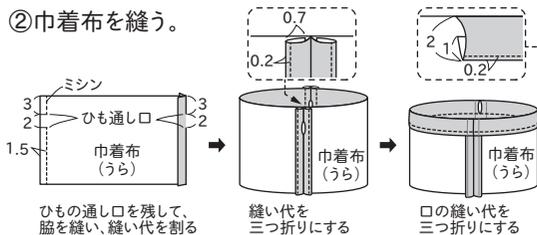
清原株式会社
大阪市中央区南久宝寺町4-5-2
<https://www.kiyohara.co.jp/>



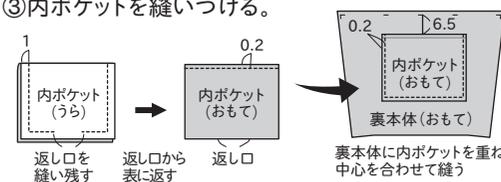
◆作り方◆

①左図と別紙を参考に製図し、
布とベルポーレンを裁断する。
※表布が薄い場合は、表本体・表底に接着芯を貼る
※ベルポーレンをカットする際は、カッターが滑りやすいのでご注意ください

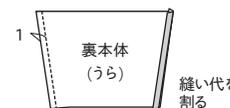
②巾着布を縫う。



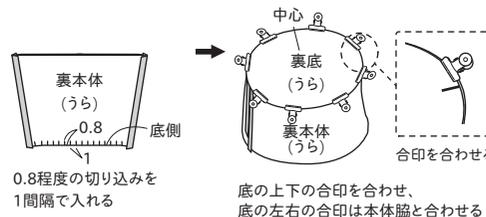
③内ポケットを縫いつける。



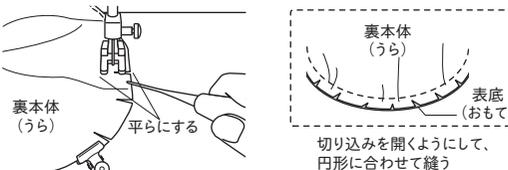
④裏本体を中表に重ねて
両脇を縫い、
縫い代を割る。



⑤裏本体の底側の縫い代に、切り込みを入れ、
底と中表に合わせてクリップで留める。



⑥底を縫う。本体側から、縫う部分だけを平らにし、
その他はつぶさないように、少しずつ縫う。



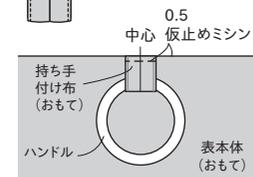
⑦表本体を、裏本体と同様に縫う。



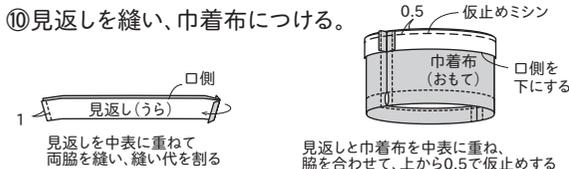
⑧持ち手付け布の両端をつき合わせて折り、縫う。



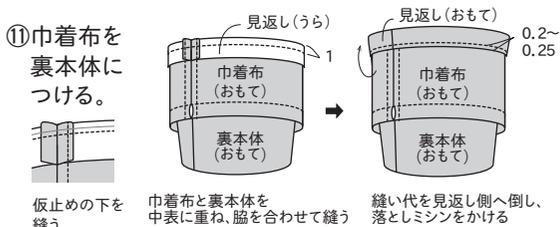
⑨ハンドルを
持ち手付け布ではさみ、
おもてに返した表本体に
仮止める。



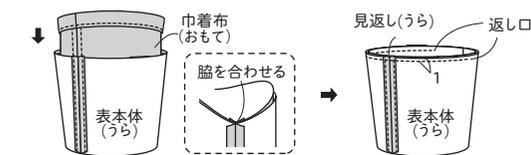
⑩見返しを縫い、巾着布につける。



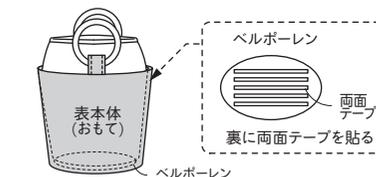
⑪巾着布を
裏本体に
つける。



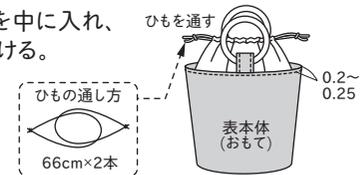
⑫表本体をうらに返し、中に裏本体を入れる。
脇を合わせ、上部を返し口を残して縫う。



⑬返し口からおもてに返す。
ベルポーレンを返し口から入れ、
表本体の底に両面テープでとめる。



⑭返し口の縫い代を中に入れ、
落とシミシンをかける。
巾着布にひもを
通して、完成。



BMSAM-20 巾着付きハンドバッグ

単位: 指定以外cm

◆製図◆

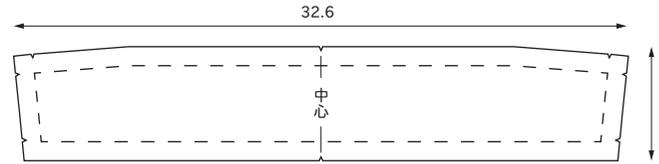
※縮小図(25%)
400%に拡大してご利用ください
※縫い代込み(指定以外1)

※印刷設定について
■このデータはA4サイズです。倍率を100%(実寸)に指定して印刷したものを、400%に拡大してください。
■下のラインは5cmです。100%(実寸)で印刷できているかを確認してください。

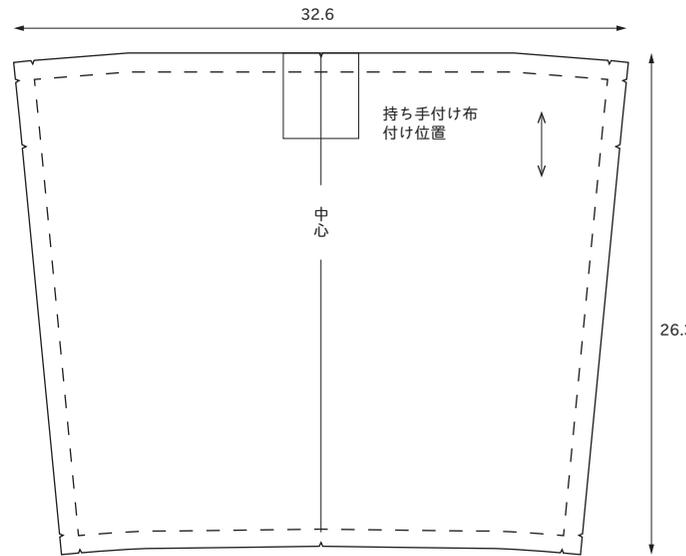


※表布が薄い場合は、
表本体・底布に接着芯を貼ってください

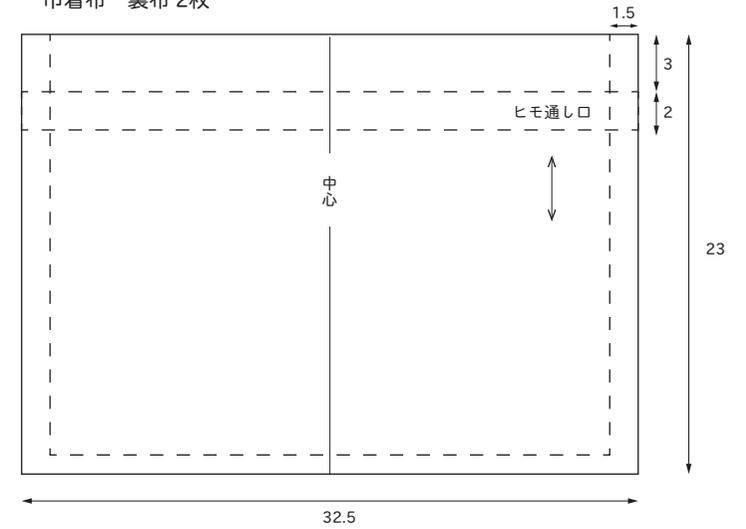
見返し 表布 2枚



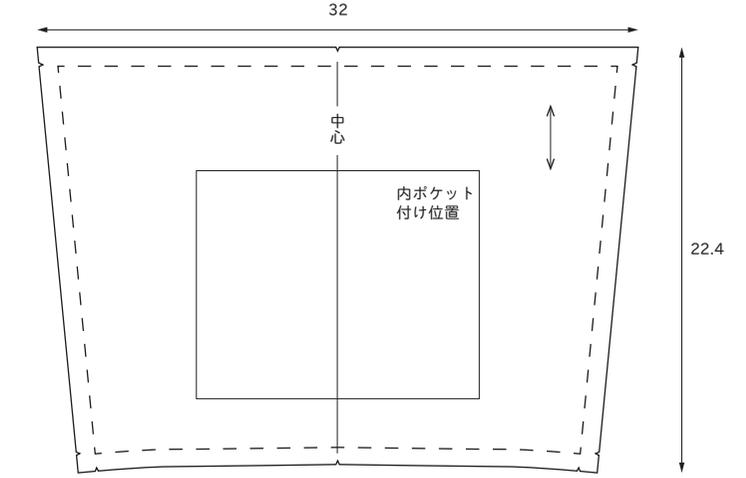
表本体 表布 2枚



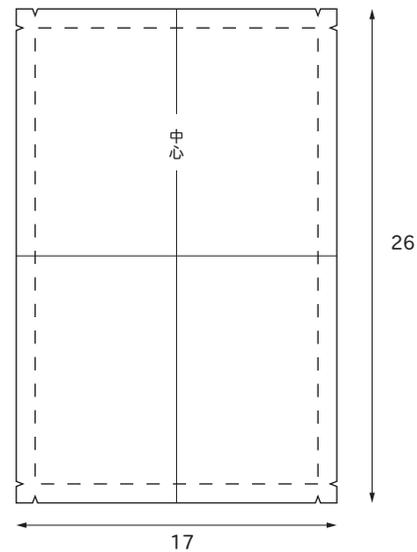
巾着布 裏布 2枚



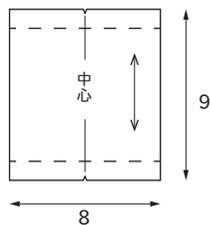
裏本体 表布 2枚



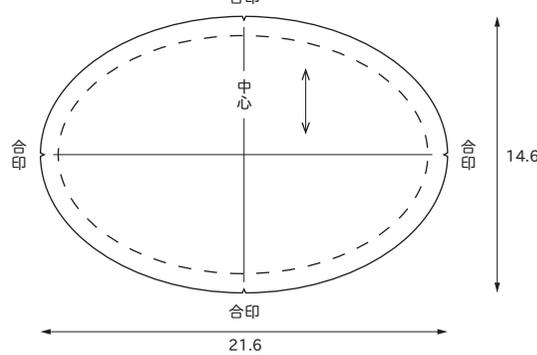
内ポケット 裏布 1枚



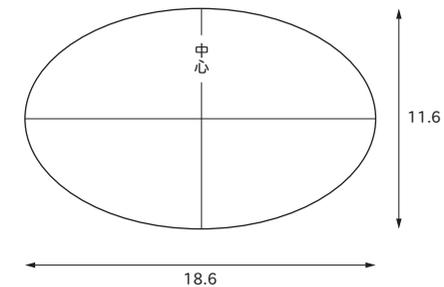
持ち手付け布
表布 2枚



表底 表布 1枚
裏底 裏布 1枚



ベルポーレン 1枚



BMSAM-21
切替トートバッグ

単位: 指定以外cm

出来上がりサイズ: ヨコ約30×タテ約32×マチ約10cm
※ハンドルを含まず



BAG MEISTER



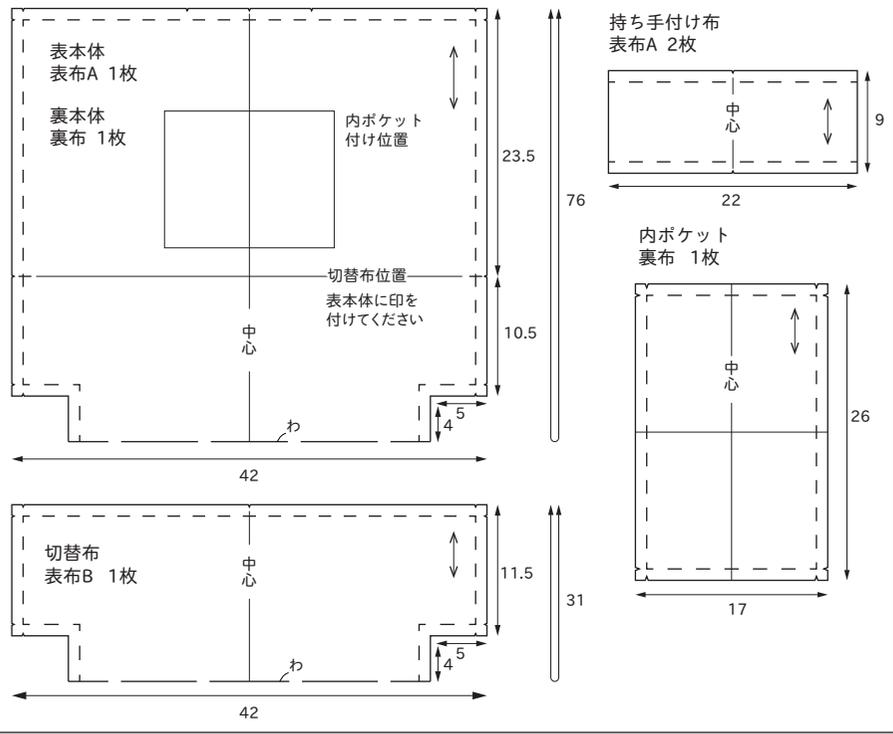
※表布Aが薄い場合は
表本体に接着芯を貼ってください

【材料】
表布A(表本体・持ち手付け布): 約ヨコ80×タテ85
表布B(切替布・内ポケット): 約ヨコ50×タテ40
裏布: 約ヨコ70×タテ85
(接着芯: 約ヨコ50×タテ85)
ハンドル: ペっこう調ハンドル・D型M / 15cm 1組
BM06-12
ベルポーレン: 約 35×15 (1.5mm厚)

【必要な道具】
はさみorカッター、しるしつけ、ミシン、ミシン糸、
まち針、両面テープなど

※縫い始めと縫い終わりは必ず返し縫いをする。

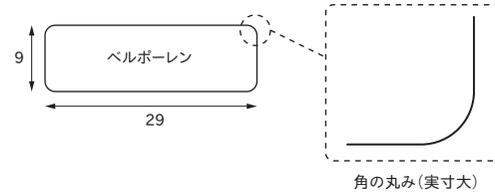
◆製図◆ ※縫い代込み(1)



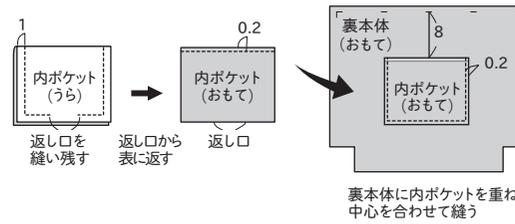
◆作り方◆

①左図を参考に製図し、布とベルポーレンを裁断する。

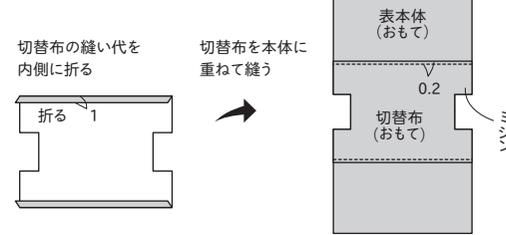
※表布Aが薄い場合は、表本体に接着芯を貼る
※ベルポーレンをカットする際は、カッターが滑りやすいのでご注意ください



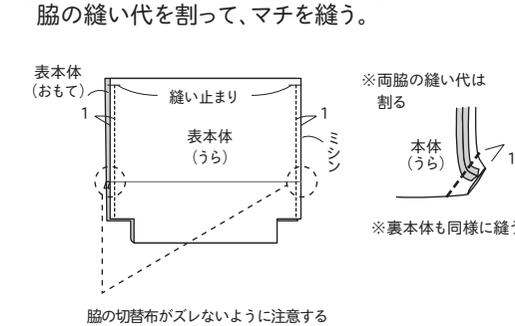
②内ポケットを縫いつける。



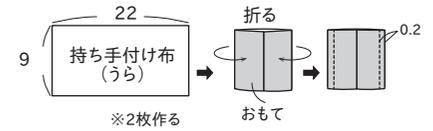
③切替布を表本体につける。



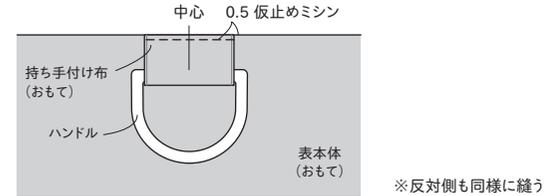
④表本体の両脇を、縫い止まりまで縫う。



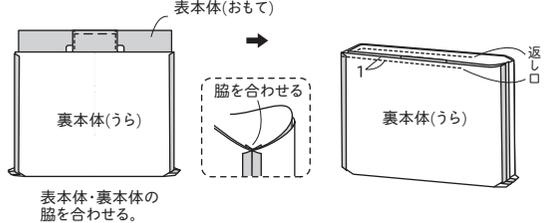
⑤持ち手付け布の両端をつき合わせて折り、縫う。



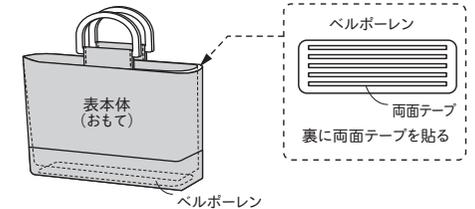
⑥ハンドルを持ち手付け布ではさみ、おもてに返した表本体に仮止める。



⑦表本体を裏本体の中に入れ、返し口を残して上部を縫う。



⑧返し口からおもてに返す。ベルポーレンを返し口から入れ、表本体の底に両面テープでとめる。



⑨返し口の縫い代を中に入れ、落としミシンをかけて、完成。

